



FFG ベンチャーパートナーズから資金調達を実施

KAICO 株式会社(福岡市西区、代表取締役:大和建太、以下:KAICO)は、2018 年 10 月 26 日、株式会社ふくおかフィナンシャルグループ(本社:福岡市、代表取締役社長:柴戸 隆成、以下:FFG)傘下のベンチャーキャピタル、株式会社 FFG ベンチャービジネスパートナーズ(本社:福岡市、代表取締役社長:福田 知、以下:FVP)を引受先として、4,000 万円の第三者割当増資により資金調達を実施しましたことをご報告いたします。

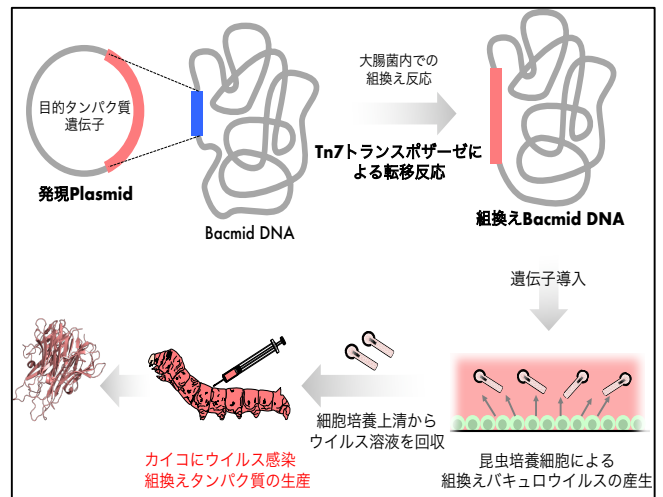
KAICO は、九州大学農学研究院日下部教授のカイコを用いたタンパク質産生技術に、工学研究院神谷教授のタンパク質機能亢進技術を応用し、難発現タンパク質を医薬品・診断薬・試薬を開発することを目的に、この 4 月に設立したベンチャーです。

■九州大学のカイコによる組換えタンパク質の生産

九州大学は文部科学省のナショナルバイオリソースプロジェクトにおいてカイコ系統保存機関であり、本機関にだけ唯一存在する系統など豊富なカイコ系統を保持しています。多くの系統は、半世紀以上の交配記録(血統書:系図)を保管しており、近交系として確立しています。これは宿主としての品質(均一性、安定性)の担保が得られます。KAICO は九州大学に唯一存在する近交系カイコを利用しカイコバキュロウイルス発現系(右図)により、目的のタンパク質を生産します。

■多くの企業研究者のパートナーになることを目指して

KAICO は他の発現系では生産し難いものや発現量が少ないものを対象に絞り、カイコでの組換えタンパク質の量産化を目指して行きます。カイコ発現系は世界的にカイコの入手と飼育ノウハウの観点からアクセスし難いものとなっておりますが、KAICO の生産プラットフォームを企業や研究者に身近・手軽に利用してもらい、多くの開発パートナーと新しい医薬品・診断薬・試薬の開発を進めて行くことを目指しています。



カイコバキュロウイルスタンパク質発現系の流れ

■本事業化のきっかけ

社長である大和建太が、九州大学ビジネススクール(以下:QBS)在学中に産学連携マネジメント講座において、出会った九州大学の技術が KAICO のベース技術となります。本技術を社会に導出することを目標に、QBS 修了後、先生方と協力し科学技術振興機構(JST)の大学発新産業創出プログラム(START)プログラムの支援を受け(事業プロモーター:DBJ キャピタル株式会社)、研究・開発と事業化調査の成果によって、本年 4 月の設立に至ったものです。今般設立後半年という短期間ながら、「学術的な価値を社会の価値へ。農業から工業・商業化へ。」という KAICO の創業理念とビジネスモデルに対し FVP から評価を頂き、出資が決定いたしました。

■今回の資金調達の目的と今後の展開

今回の調達資金は、生産プラットフォームの人材確保と、来年度以降予定している海外展開のための準備資金として使用致します。日本の強みを持ったカイコバキュロウイルス発現によるタンパク質開発を、世界に展開することを計画しています。